令和3年度 京の生きもの生息調査レポート



京都市では、緑や水辺の豊かさ等の自然環境の現状を把握するため、市民の皆様に御協力いただき、市内で見られるツバメ等の生息状況を調査する「京の生きもの生息調査」を実施しています。

本調査に多くの生息情報が集まることで、京都市の自然環境の『いま』が分かり、自然環境を守るための取組につなげることができます。

<調査期間>

令和3年4月1日~10月31日:ツバメ、ハグロトンボ、セミ

令和4年1月1日~3月31日:ウグイス

<調査種について>

これまでの調査種(ツバメ、ハグロトンボ、セミ)に加えて、新たに「ウグイ ス」を対象に調査を行いました。

ツバメ



ツバメの居場所を調べる

ことで、巣の材料となる泥や

<環境指標性>

分かります。

ハグロトンボ



<環境指標性>

ハグロトンボの居場所を 調べることで、水草の豊か 草、エサとなる虫がとれる な水辺と緑地の広がりが 畑や水田、水辺の広がりが、分かります。

セミ



く環境指標性>

シ、ヒグラシ

かを調べることで、その周 辺の自然環境が分かりま 【市街地でよく見られる】 クマゼミ、アブラゼミ 【里地里山でよく見られる】

ミンミンゼミ、ツクツクボウ

どこにどんなセミがいる

ウグイス



<環境指標性>

ウグイスがどこにいるか を調査することで、ウグイ スの生息環境である低木 の林地や生け垣など市内 の緑地の広がりが分かり ます。

く調査結果>

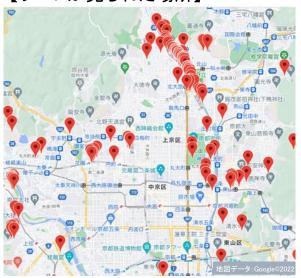
- ・ツバメ235件、ハグロトンボ84件、セミ232件、ウグイス67 件。4種合わせて618件の報告がありました。 御報告いただいた皆様、ありがとうございました。
 - いずれの種も、市内で広く報告がありました。
- 昨年度と同様にツバメは4~10月、ハグロトンボは6~9月、セミ は7~9月を中心に報告がありました。

eff;

ツバメ

〇報告件数:235件(ツバメ:161件、ツバメの巣:74件)

【ツバメが見られた場所】

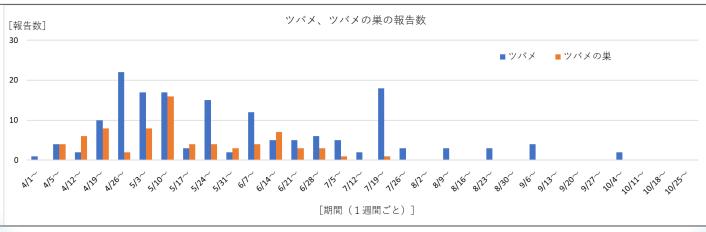


【ツバメの巣が見られた場所】



- 市街地を中心に、市内の広い範囲で報告がありました。
- ・ツバメの報告は、河川や山が近い場所で多く、巣材や餌を集めていると思われます。
- ・ツバメの巣の報告は、餌場(河川や山)の近くの住宅街に多い結果でした。

【報告時期】



- ・ツバメは、4月末から5月中の報告が多い結果でしたが、その後も10月初旬まで報告がありました。
- ・ツバメの巣の報告は、5月中旬がピークでした。 それ以降は減少し、7月に入るとほとんど報告がありませんでした。

これは、6月中でツバメの子育てが終わり、巣にいるツバメが見かけられなくなったためだと思われます。



令和3年度 投稿写真



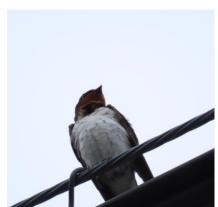












3年連続で、報告が多かった場所~北大路商店街~

〈令和3年度〉



〈令和2年度〉



〈令和元年度〉



- ・北大路商店街は、アーケードがあり、商店の看板も多いため、巣が作りやすく、 雨風や外敵からも守られていて、子育てしやすい環境。
- ・周辺環境としても、賀茂川や府立植物園から近く、巣材を集めやすい。
- ○子育てしやすい環境が守られている、ツバメに人気の場所なのでしょう○

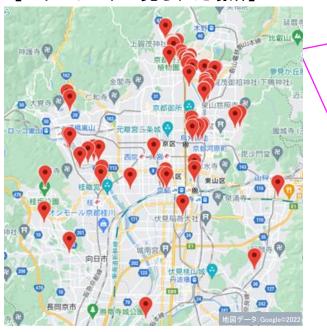
ハグロトンボ

〇報告件数:84件

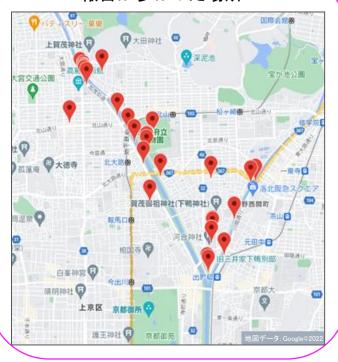




【ハグロトンボが見られた場所】

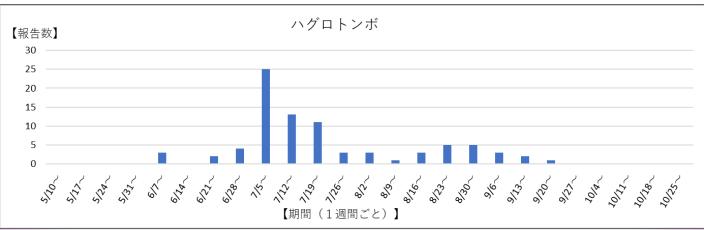


報告が多かった場所



- 市内の広い範囲で報告がありましたが、特に賀茂川や高野川で多くの報告がありました。
- ・その他も、ほとんどが河川、用水路、池等の水辺における報告でした。
- ・ハグロトンボは、成虫期の若いうちは水辺から離れた樹林で過ごすので、川から離れた場所でも報告がありました。

【報告時期】



・6月から報告があり、7月上旬がピークでした。

令和3年度 投稿写真



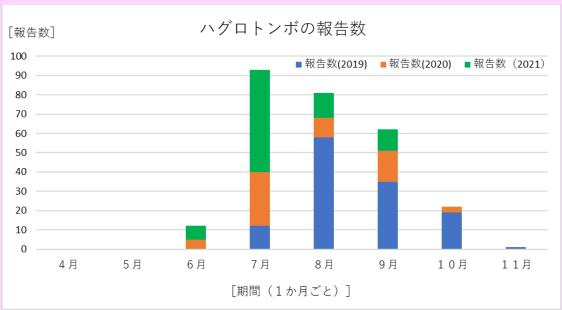








3年間の報告数



- ・これまでの3年間の報告時期から見ても、7月が出現のピークでした。
- •7月~9月の暑い時期によく見られ、その後、10月以降は、ほぼ見られなくなります。

お盆前後によく見られることから「お精霊(しょらい)とんぼ」と呼ばれていることが思い出されますね。

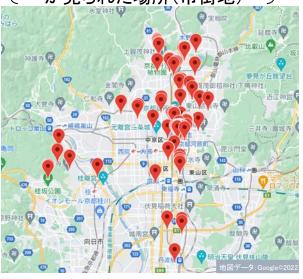
セミ

〇報告件数:232件 ┤

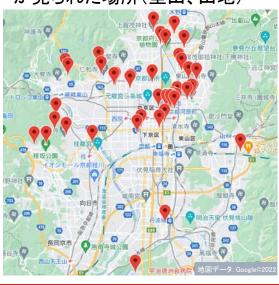
クマゼミ 76件 アブラゼミ 106件 ミンミンゼミ 13件 ツクツクボウシ 9件 ヒグラシ 9件 その他のセミ 19件



クマゼミ、アブラゼミ が見られた場所(市街地)



ミンミン、ツクツクボウシ、ヒグラシが見られた場所(里山、山地)



- ・クマゼミ、アブラゼミは、市街地で多くの報告がありました。
- ・ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシは、市街地での報告もありますが、市域北部での報告が多い結果でした。(里山、山地を好む種類と言われています。)

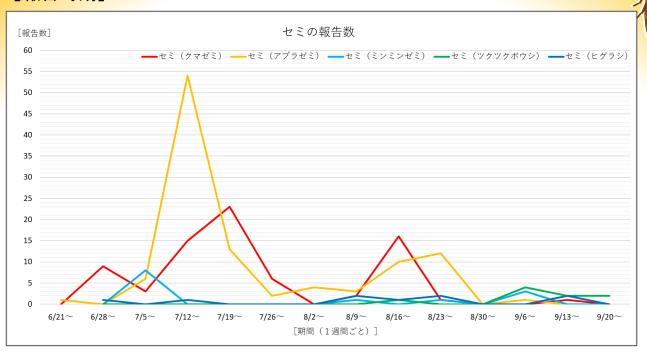
<u>2年連続で、報告が多かった場所</u>~御池通~ 【クマゼミ】 【アブラゼミ】





- ・一大人気スポットは、河原町~烏丸までの御池通。
- ・この通りの街路樹は、主にケヤキです。クマゼミは、サクラやケヤキの<mark>木等を</mark> 好むと言われています。
- <mark>・また、人通りが多い</mark>ことから、報告が多いと思われます。

【報告時期】



- ・クマゼミとアブラゼミは、7月初旬から8月下旬まで報告がありました。
- ・ミンミンゼミとツクツクボウシは、8月初旬から9月下旬まで報告がありました。 昨年と同様に、セミの種類ごとに少し出現時期が異なりました。

令和3年度 投稿写真



クマゼミ



アブラゼミ



ツクツクボウシ

ウグイス

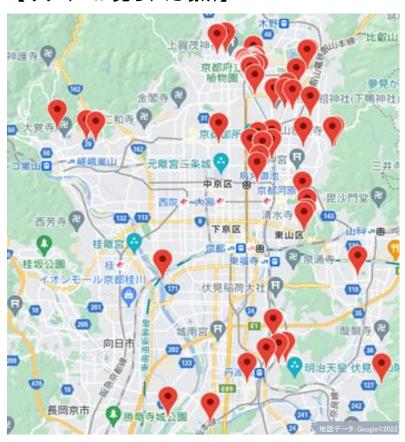
(令和3年度追加種)

〇報告件数:67件 ウグイス

ウグイス(さえずり) 19件 ウグイス(地鳴き) 14件

34件

【ウグイスが見られた場所】





・市域周辺部(山が 近いところ)や河川 沿い、植物園等で 多くの報告がありま した。

ウグイスが好む低 木の林地や生垣が 多い場所が分かり ますね。

令和3年度 投稿写真

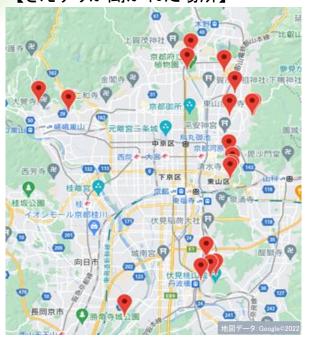




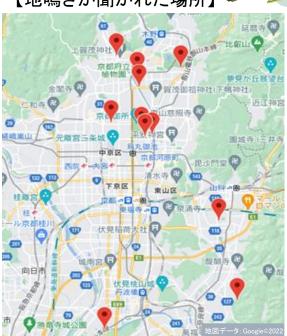




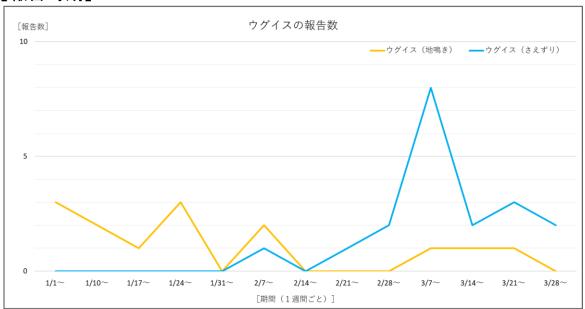
【さえずりが聞かれた場所】



【地鳴きが聞かれた場所】



【報告時期】



- ・さえずりは、山の近くで多くの報告がありました。
- •一方で、地鳴きは、市内中心部でも報告されています。
- ・報告時期を見ると、2月初旬にさえずりの初報告があり、その後、さえずりの報告が増え、地鳴きの報告は減少していました。

⇒2月に入った頃から、冬を過ごした市街地(平地)から、繁殖地である山に向けて移動し始めたことが分かります。

※鳴き声については、ウグイスの説明資料を御参照ください。